

# 「東海道 てくてく旅」

(1633) T/U

東京～神奈川～静岡～名古屋～京都～大阪と日本の大動脈  
メカロポリス（メトロポリス）を歩けた喜びでいっぱいです。  
支え、応援していただいた皆様に感謝いたします。

月	日	曜	出発～到着	総歩数	宿場（距離 km）宿場	旧跡・名所
9	23	金	日本橋～川崎（鶴見）	41,490	日本橋(7.8)品川(9.8)川崎=鶴見	鈴木森刑場、六郷橋
	24	土	鶴見～戸塚	34,386	鶴見(9.7)神奈川(4.9)保土ヶ谷(8.8)戸塚	権太坂
	25	日	戸塚～平塚	34,857	戸塚(7.8)藤沢(13.7)平塚	
	26	月	平塚～小田原	33,801	平塚(2.9)大磯(15.6)小田原	小田原城
	27	火	小田原～箱根峠	35,633	小田原(16.5)箱根	芦ノ湖
	28	水	箱根峠～三島	33,810	箱根(14.7)三島	
			第1クルー計	213,977	112.2 km	
10	18	火	三島～吉原	43,200	三島(5.8)沼津(5.9)原(11.7)吉原	千本松原
	19	水	吉原～興津	38,248	吉原(11.1)蒲原(3.9)由比(9.1)興津	薩埵峠、三保の松原
	20	木	興津～府中	37,141	興津(4.1)江尻(10.5)府中	駿府城、徳川家康
	21	金	府中～藤枝	35,942	府中(5.6)丸子(7.8)岡部(6.7)藤枝	
	22	土	藤枝～掛川	41,129	藤枝(8.6)島田(4.0)金谷(6.5)日阪(7.1)掛川	宇津ノ谷、小夜の中山
	23	日	掛川～見付（磐田）	30,373	掛川(9.5)袋井(5.8)見付=磐田	どまん中茶屋
	24	月	磐田～浜松（高塚）	30,047	磐田(16.4)浜松=高塚	
	25	火	高塚～新居（浜名湖）	24,357	高塚(10.8)舞阪(5.9)新居=浜名湖	新居関所
	26	水	浜名湖～吉田（豊橋）	32,315	浜名湖(6.5)白須賀(5.7)二川(6.1)吉田=豊橋	二川宿、豊橋市電
	27	木	豊橋～藤川（岡崎）	40,443	豊橋(10.2)御油(1.7)赤坂(8.8)藤川=岡崎	岡崎城、徳川家康
	28	金	岡崎～知立（刈谷）	26,722	藤川(6.6)岡崎(14.9)知立=刈谷	桶狭間古戦場
	29	土	知立～鳴海（刈谷）	35,173	知立(11.0)鳴海=刈谷	鳴海宿
	30	日	鳴海～宮	21,699	鳴海(6.5)宮～名古屋城～新潟	名古屋城
			第2クルー計	436,789	234.8 km	
11	10	木	桑名～南四日市	33,466	桑名(12.6)四日市	七里の渡し
	11	金	南四日市～亀山	33,358	四日市(10.7)石薬師(2.7)庄野(7.8)亀山	
	12	土	亀山～坂下	20,467	亀山(5.9)関(6.5)坂下	関宿
	13	日	坂下～水口	30,720	坂下(9.7)土山(10.5)水口	鈴鹿峠
	14	月	水口～草津	35,962	水口(13.7)石部(11.7)草津=唐橋	
	15	火	草津～大津（石場）	28,035	関ヶ原～草津(14.3)大津=石場	（遠地）関ヶ原古戦場
	16	水	大津～京都三条大橋	25,607	大津(11.7)三条大橋～京都御所	京都御所
	17	木	追分～橋本（枚方）	37,260	追分(12.6)伏見(7.7)淀～橋本=枚方	龍馬通り、寺田屋
	18	金	橋本～守口	26,645	枚方(12.9)守口	
	19	土	守口～大阪高麗橋	43,511	守口(10.0)大阪高麗橋～大阪城～新潟	大阪城、道頓堀
			第3クルー計	315,031	173.8 km	
			総合計	965,797	520.8 km	

目的地に宿泊施設が上手く取れない為、遠方になったり連泊したこともあり、電車など使いながら出発地に戻ることもあった。  
更に道間違いや寄り道などもあったので、600 km以上は歩いていると思う。  
万歩計の歩幅を何 cm でセットするか、65 cm～75 cmの間で揺れた。

一気通貫でやれば価値が高いが、三回に分かれたのはクラブの山行があり、10/1～15＝申込締切りと案内書の発送、11/6＝登山本番だった為である。

詳しくは、リンク集「亀の内ちゃん」のブログを参照して下さい。

旧東海道は、関が原の戦いの翌年の慶長6年（1601）に、徳川家康により江戸・日本橋から京都・三条大橋間に伝馬制度を確立したのが旧東海道の始まりで、2001年に開設400年記念祭が各地で行われた。幕府は江戸防衛上、沿線には譜代大名を配し、主な河川の架橋を認めず、要衝の地には関所をもうけるの一方、街道の両側には松を植樹し、一里塚を築き、宿駅を設置するなどして約500km、53の宿を持つ街道として整備された。

東海道は、江戸時代に整備された五街道の一つで、古来、道中には風光明媚な場所や有名な名所旧跡が多く、浮世絵、和歌、俳句の題材にもしばしば取り上げられた。五十三次は京都までだが、大阪までを加えて五十七次とする説もある。

旧東海道は車社会になると狭く曲がっている為、隣に広い国道ができた。その為、旧道は裏道となり、静かで歩き易いが殆ど食堂やコンビニがない。国道は店は多いが、トラックなどがビュンビュン通り、景色も良くない。

殆ど当時の面影はなくなって石碑だけになっているが、東海道を巡る旅は、「場所への旅」であるとともに「時空への旅」でもある。

施設としては、一里塚、常夜灯、本陣、脇本陣、旅籠、問屋場、高札場、茶屋、追分、関所、川越所、渡船所、間の宿、枡形、立場などがある。

風情のある宿場、街道は、関宿、宇津ノ谷の集落、二川宿の本陣、薩埵峠、箱根東坂の石畳、御油の松並木などやたらと松並木が多かった。

難所は、箱根峠、薩埵峠、宇津ノ谷峠、小夜の中山、白須賀峠、鈴鹿峠、などの県境だ、急坂で電車もバスも宿屋もコンビニもないところが多い。

コースを外れて見物に寄ったのは、小田原城、三保の松原、岡崎城、桶狭間公園、名古屋城、関ヶ原古戦場跡、京都御所、大阪城、道頓堀など。

印象に残るのは、富士山、太平洋、湖、大井川、富士川、天竜川、淀川、歌川広重・葛飾北斎の錦絵、十返舎一九、弥次喜多、東海道中膝栗毛、芭蕉・一茶の句碑など。

明治天皇の行幸記念碑、徳川家康、坂本竜馬、真田幸村史跡、神社仏閣、道の駅、マンホールの絵、豊橋のチンチン電車、国道1号線の距離標識は励みになる、etc

東海道を歩いている人たちとの出会いも楽しい。土日になると増えるのだ。単独の男性が多いが、関西からのおばちゃん4人組とエールを交換した。ツアーで日本橋を出発した200人が毎週減って50人、京都には何人に？

東海地震・津波対策なのだろうか、ここは海拔0m、海岸から0m、この高台に登れ、などの表示がたくさんあった。

荷物は、①ザックは6kg、着替え、折り畳み傘、小物など、  
②手提げ袋には、ガイドブック、行動食、充電器、シャーペン  
③ポケットには、紐付きデジカメ・スマホ、小銭入れ



9/23 日本橋を出発、上を高速道路  
が走っています



殆どこの服装・スタイルで歩き、傘  
は2回目以降折り畳み傘に



9/23 龍馬が歩いた歴史の道でもあ  
ります



9/24 鶴見〜戸塚のマンホール、箱  
根駅伝とも重なる道



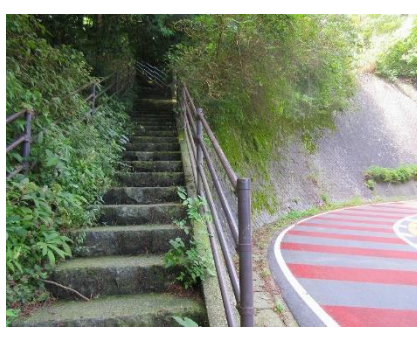
9/25 平塚市の相模川に架かる馬入  
橋から、富士山が見えた



9/27 小田原城の天守閣



9/27 箱根峠を目指して1 3の坂を  
登る



9/27 左：旧道、右：新道



9/27 石畳の道も多い



10/19 由比本陣と広重美術館



10/20 三保の松原から見る富士山、  
世界遺産になったのだ



10/21 岡部宿の旅籠に足を洗って泊  
まる旅人



10/25 舞阪宿の松並木、東海道にはたくさん見られた



10/29 愛知県・鳴海宿の江戸時代の建物



10/30 名古屋城の天守閣まで登った



11/10 四日市宿にある一里塚、126里あった



11/12 亀山宿に泊まった弥次さん喜多さん



11/12 江戸時代にタイムスリップしたような関宿



11/13 鈴鹿峠、三重と滋賀の県境でもある



11/15 瀬田の唐橋、京都近しを思わせる橋、攻め込む敵を防ぐ為、何回も焼き払われた



11/16 遂に来た京都・三条大橋



11/16 先に到着していた弥次さん喜多さんが迎えてくれた



同日、京都御所を訪れ、蛤御門に立つ



中は広大で、今にもお公家さんの行列が出てきそう



11/17 左折して大阪への57次に向かう、前日は右折して京都へ向かったのだ



11/17 伏見宿の龍馬通り



11/17 寺田屋、龍馬が襲われ、おりようが助けた



11/18 淀川沿いの歩道のない国道は、トラックなどが走る危険な道だ、今日までこんな道路も結構あった



11/19 大阪の高麗橋、最終目的地だ



目的を達成して、大阪城を見物



真田幸村と記念写真、衣装を借りて はい、ポーズ！彼女達は日本人？、どこの観光地も東南アジア系が多い



人が溢れている道頓堀、グリコの看板だけは変わらない